

## 第 1 回市民委員会の課題整理及び特別委員会等について

## 1 第 1 回委員会での主な意見及び対応について

第 1 回委員会での主な意見及び対応について、次のとおり整理しました。

## ①今市文化会館に対する今市地域の住民意見の確認について

・今市地域の各地区自治会長、特別委員会での協議により了承を得た。

※別紙「資料 1 - 2」のとおり

## ②広く市民の意見を聞く手法について

・上記①に同じ

## ③文化会館の文化振興に関する位置付けの明確化について

・新文化会館建設で合意形成が図られた場合に、文化会館に求めるものについては、施設の文化振興に関する位置づけが重要であることから、市民委員会のご意見を参考に、特別委員会と協議し決定していく。

## ④道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣との差別化について

・道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 多目的ホールの特色や利用者ニーズを分析し、当施設の位置付けを定めたいうえで、新施設の機能や規模について差別化を図る。

## ⑤施設規模、近年の物価高騰等に応じた整備事業費の再検証について

・物価高騰等の影響を鑑み、整備事業費について次のとおり再試算した。

※詳細は、別紙「資料 1 - 3」のとおり

## 【新文化会館整備事業費（想定）】

500 席	約 22.2 億円	（建物	約 19.8 億円	敷地	約 7,300 ㎡）
800 席	約 35.5 億円	（建物	約 31.7 億円	敷地	約 11,600 ㎡）
1,000 席	約 44.4 億円	（建物	約 39.6 億円	敷地	約 14,500 ㎡）
1,500 席	約 66.6 億円	（建物	約 59.4 億円	敷地	約 21,700 ㎡）

## &lt;特記事項&gt;

- ・事業費は、近年の自治体への状況調査の平均で算定
- ・土地購入費及び周辺道路の整備など増加する可能性あり

## &lt;参 考&gt;

- ・矢板市文化スポーツ複合施設新築工事（500 席 約 13.7 億円）
- ・足利市民会館解体費用 約 7 億円

## ⑥既存文化会館及び道の駅日光（多目的ホール）の利用実態の詳細調査について

・これまでのアンケートに加え、新たな施設へのニーズ等を把握するための利用者アンケートを実施

※「別紙資料 1 - 4」のとおり

## 2 第1回公共施設等あり方検討調査特別委員会について

第1回の文化会館あり方検討市民委員会の内容を議会と共有し、市議会としての意見をいただくため開催（令和4年8月19日開催）。

### <特別委員会の構成>

委員長：生井一郎議員

副委員長：山越悌一議員

委員：齋藤正三議員、筒井 巖議員、青田兆史議員、齋藤文明議員

亀井崇幸議員、嶋田正法議員、瀬高哲雄議員

### ● 特別委員会における主な意見

- ① マネジメント計画においては、文化会館3館を統合することをモデル事業として掲げており、まずは、市全体の文化会館のあり方を検討すべきだったと考えるが、実際は日光・藤原を先行してしまっている。この点に関し市はどう捉えているか？
  - 市全体の文化会館のあり方を定めたうえで、日光・藤原を議論するほうが、市民にとってわかりやすいものであったと考える。
  - 一方で、財政健全化の取り組みを進めることも重要であり、耐震性のない日光・藤原を先行して協議させていただいた経緯があった。
  - 日光・藤原の施設のあり方、跡地利用については、市全体の文化会館のあり方を定めたうえで、これまでの協議、提言書を踏まえ早急に取り組んでいきたい。
- ② 市民意見をどう整理していくのか。
  - 市が案を提示したうえで、それに対する意見をいただく方式で整理していく。
- ③ 文化会館は、長年利用される施設で、将来的な財政負担も生じることから、整備が決定した場合は、有効に活用される施設とされたい。
  - 利用されない施設を整備することは、最も避けなければならぬものと捉えている。整備となった場合は、施設に求めるものや、運用面での整理がもっとも重要と考えている。検討委員会や特別委員会のご意見をいただきながら将来にわたり有効な施設整備に取り組んでいく。
- ④ 文化会館利用者へのアンケートを実施するとのことだが、偏ったニーズの把握とならないよう注意されたい。
  - 広く市民を対象としたアンケートの実施について今後検討
- ⑤ 現今市文化会館の老朽化が著しいとのことだが、施設はどの程度維持できるのか。
  - 確定的な時期は不明だが、いつ使えなくなってもおかしくない状況、そうなった場合に備え、代替措置についても今後検討する。
- ⑥ 今市文化会館の老朽化が著しいことから、迅速に新施設の方向性を定められたい。

### 3 今市地域各地区自治会長会への説明について

今市文化会館の今後についての検討方法を相談するため開催（令和4年8月9日開催）。

#### <今市地域各自治会長会会長>

今市地区：手塚一三 会長                      大沢地区：星 正男 会長  
落合地区：本間友章 会長                      塩野室地区：高橋 満 会長  
豊岡地区：阿部秀夫 会長

#### ● 自治会長会における主な意見

- ① 改めて今市地域に限定した専門部会をつくる必要はないが、早急に施設整備を進められたい。
- ② 早くこのように動いていくべきであったと思われる。今市地域にどこか造るとするのは誰もが思っているところだとは思いますが、造る場所についても適切な場所を検討してもらいたい。⇒ 建設候補地は今市地域に限定されないことを説明
- ③ 今市地域の各地区自治会長会会長としては、今市地域の文化会館の方向性については、検討市民委員会にゆだねることで了承。

### 4 文化会館運営審議会への説明について

第1回の文化会館あり方検討市民委員会の内容を運営協議会と共有し、運営協議会の意見をいただくため開催（令和4年8月19日開催）。

#### <運営審議会の構成>

会 長：五味淵一友委員  
副委員長：石井真由美委員  
出席委員：手塚崇史委員、五月女隼久委員、山本京子委員、太田啓三委員  
手塚一三委員、渡邊友三郎委員、高橋裕也委員、大嶋浩美委員

#### ● 運営審議会における主な意見

- ① 文化会館は絶対に必要、世界に誇る“日光”なのであるから、かなりの規模が必要では？新しいものをつくるのであれば、設備が最新のもので、充実が必要である。
- ② 駐車場の確保は必要であり、重要である。
- ③ 広大な面積を有する日光市にとって、施設から遠方の市民が文化交流できるようバスなどで文化会館に行けるような移動手段の確保をお願いしたい。

### 5 まとめ

- すべての会議において、施設整備に否定的な意見はなかった。
- 整備に当たっては、迅速性を重視したうえで、留意すべき多数のご意見をいただいた。



- ・まずは、建設の是非についての決定を、早急に進める必要がある。
- ・そのうえで、具体的な整備内容について迅速に整理していきたい。